

みずほバス見直しを行った 基本的考え方

平成25年4月1日改正時

- ・穂積駅の利用者が7割以上であることから、駅中心の路線体系、時刻表にする。
- ・瑞穂北部線の利用客の約半数がLCワールド本巣となっており、LCワールド本巣が本巣市に位置していること、利用者数も年々減少していることから路線の廃止とする。
- ・地方の公共交通機関は、利用者の利用料金で運行経費が賄える状況にはなく、市民の税金で赤字分を補助していることから、利用客数が多い停留所、時間帯を勘案して、利用者数が見込める路線、時刻を中心とする。
- ・市内をより広い範囲で回れるように、北部、中部、南部の3つのエリアに分ける。(ダブル路線を極力抑える)
- ・運行時間を可能な限り短時間にする。
- ・公共施設を利用できる時刻表にする。
- ・既存のバス停留所を最大限利用し、必要な箇所は新規のバス停を設置。